

# 郷土愛通信

平成30年8月29日  
第8号  
郷土愛プロジェクト

仕事とは「やりたいこと」より「なりたい自分」

＝塚田技研 高橋絢さんから＝



7月12日（木）に、伊那西高等学校において「キャリアフェス」を実施しました。13事業所にご出展いただき、2年生3年生の就職希望生徒を中心とした会になりました。

高等学校での「キャリアフェス」は初めての開催です。これまで中学校で実施してきたキャリアフェスをベースにして、社会に出ていくことが目の前に迫っている生徒さんに、今回どんなことをお伝えすればよいのか、生徒さんのニーズと学びにつながるよう、手探りで考えての実施でした。初めて参加していただく事業所さんが5社を加え、13事業所さんに出展をしていただきました。今回、各事業所さんが、高校生に年の近い若い社員さんをお連れくださり、会社の説明や、自分の仕事に対する考え方を高校生にしっかり伝えてくれたことも、高校生がより熱心に耳を傾けることにつながりました。中には、伊那西高校の卒業生の社員さんもいて、「高校時代からどう卒業後の進路を考えていたのか」や「地元上伊那で働くこと」「仕事に誇りをもつこと」などについて熱心に話してくれました。今後、10年後の人口推移や社会状況を踏まえて、女性が地元で働くことについて、高校生に考えてもらえるキャリア教育の展開をしていきたいと考えています。

15分という短い時間の中で「これだけは！」という大事な情報をわかりやすく教えていただきました。企業の方々はどの方も、笑顔でお話くださり、笑顔はその場の雰囲気をも明るくすることも今日勉強になりました。（2年生）

社会人の方と触れ合う機会がないので、高校生にとっては貴重な会でした。教員にとっても、生徒が上伊那で働く場としてさまざまな業種・職種があることがわかり勉強になりました。（教職員）

私はサービス業に就きたいと思っています。お話を聞く中で、毎日違うお客さんがくるから楽しいできる、コミュニケーション力がつくメリットと、土日に休みがないデメリットを伝えてくれ、休みが少なくてもそれに負けないくらい楽しんで仕事をしていることがわかりました。サービス業は毎日が本番なので今の自分のままではだめだと思いました。（3年生）

就職を目的にしている生徒さんだけあり、説明を聞く姿も熱心さを感じました。生徒さんと直接会話し、企業内容の説明ができたことは大変有意義でした。（N社）

## 「子どもの未来応援団事業」

### 伊那弥生ヶ丘高校

「総文祭」での伊那谷上伊那紹介マップを作成し、全国からお見えのお客様に配布しました。またシマダヤ1階では、パンフレットのもとになった模造紙での紹介を、総文祭開催中に行いました。高校生目線の紹介マップ、なかなか斬新です！



上伊那を学ぶ中高校生  
|| 活躍の場が広がって ||

### 伊那中学校2学年

昨年度の中학생のお気に入りの故郷の1枚「川柳・写真展」から、さらに今年度は、南信州にお見えの観光客への、ふるさと伊那市の紹介へ活動が広がりました。信州デスティネーションキャンペーンに合わせて、伊那市駅で、ふるさとの写真と川柳でお出迎えをしてくれました。



### ダイヤモンドスポーツフェスティバルin上伊那

8月11日に標記の会が行われ、上伊那から甲子園の会に助成しました。当日は、上伊那郡内の全中学校の野球部の生徒約200名がキャスターになり、保育園・小学生に1対1について、さまざまなスポーツ体験を、丁寧な説明とわかりやすい言葉がけで促してくれました。



### 広がりを見せるキャリア教育

郷土愛PJ主催でこれまで実施してきた伊那市・駒ヶ根市のキャリアフェスが、本年度は地元主催で、以下の日程で実施されます。

キャリアフェスの目的や必要性がじわじわと広がっていき、うれしい限りです。

その他、アントレプレナーシップ教育についても、中学校単位での実施が、郡内の中学校に広がっています。

11月2日(金)

伊那市中学生キャリアフェス

11月16日(金)

駒ヶ根市立赤穂中学校

キャリアフェス

### 【お知らせ】キャリア教育授業紹介

(1) 伊那北高等学校「こんにちは先輩」 10月12日(金) 午後1時30分～3時30分  
地域で活躍する先輩が、自分の生き方や地域貢献のあり方について話します。

(2) 長野県立歴史館ツアー 10月28日(日)

歴史館の特別展「黒曜石展」を受けて、今年が目玉は『縄文時代』！歴史館で黒曜石について学んだあと、上伊那の縄文時代の黒曜石を使った道具につながるようなツアーにしたいと思います。郡内小学校5・6年生と保護者にご案内します。